

# 平成23年度特許侵害警告模擬研修実施報告

平成24年3月

平成23年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、特許侵害警告模擬研修を4回実施いたしました。  
本研修は中小・ベンチャー企業の経営者や知財担当者を対象とし、「特許侵害警告書」の受領を疑似体験し、その対応策を検討するという実践的な研修を通じて、特許侵害警告を受けた際の基本的な対応方法を修得することを目的としています。  
具体的には、自社が製造販売を始めた新製品について、他社の特許権を侵害したとして突然警告書を送付されるという仮定のもと、警告書への回答の仕方や警告側と本格的な交渉が始まる前に準備すべき事項等について学習します。

1. 研修の概要								
(1) 日程	12月5日 13:00～18:00		1月16日 13:00～18:00		2月10日 13:00～18:00		3月9日 13:00～18:00	
(2) 開催地	東京都 (経済産業省別館)		愛知県 (名古屋商工会議所)		大阪府 (大阪科学技術センター)		福岡県 (八重洲博多ビル)	
(3) 申込者数	26名		22名		26名		6名	
(4) 参加者数	24名		20名		24名		4名	
(5) 対象者	中小・ベンチャー企業の経営者、知財担当者等							
(6) 講師	イグレット知財活用弁理士事務所 弁理士 鷺 健志氏		BS国際特許事務所 弁理士 阿部 伸一氏		豊栄特許事務所 弁理士 渡邊 敬介氏		田村国際特許事務所 弁理士 田村 榮一氏	
2. アンケート結果								
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	14名	60.9	7名	35%	10名	43%	4名	100%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	9名	39.1	13名	65%	13名	57%	0名	0%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	0名	0%	0名	0%	0名	0%	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%	0名	0%	0名	0%
・無回答	0名	—	0名	—	1名	—	0名	—
(2) 主な意見・要望	・講義を受ける中で、対応策が想像以上に色々あるのだなと感じた。対応の基本とケースバイケースで行うことについて、非常に参考になった。 ・具体的な事例のご紹介や知財戦略についてのお話が大変有意義だった。 ・それぞれのグループで課題を分けて討論したため、侵害対応のごく一部のみ良く理解できたが、一貫して討論できた方が良かったと感じた。時間をとって良い研修だと思う。 ・事前に質問を受けて、解説をするという内容があると更に良いと思った。							
(3) アンケート回収率	23名	96%	20名	100%	23名	96%	4名	100%
3. 今後の課題								
・福岡開催については受講者が少なかったため、講師と相談し、研修の進め方を変更するなどの対応をした。今後は、開催地域や日程を考慮しながら、より多くの方に参加いただけるような研修内容となるようカリキュラムを検討していきたい。								
4. その他、前年度からの改善点等								
・講師の方々にご協力いただきながら、関係条文を追加するなど、テキストの見直し・校正を行った。								